

村野球連盟15年度リーグ戦終了

赤坂クラブが2年連続優勝 準優勝は12区野球部



▲理事長から優勝旗を授与



▲優勝した赤坂クラブのメンバー

飯館村野球連盟（佐藤昇理事長）

納会は12月10日、きこりで行われ、今年度優勝チームの赤坂クラブに優勝旗が手渡されました。同チームは昨年到现在2年連続の優勝です。各チームから代表40人が集まった納会では、理事長あいさつの後、今年度の順位が発表され、続いて行われた表彰式で赤坂クラブを代表して大和田昌裕さんに理事長から優勝旗が手渡されました。

引き続き懇親会が行われ、参加者らは、1年間のお互いの健闘を称え合いながら、懇親を深めていました。

成績▷優勝 赤坂クラブ▷準優勝 12区野球部▷3位 ファイターズ▷同 いいたてJA▷同 上飯樋野球CL▷6位 宮内野球クラブ▷7位 飯館村役場▷8位 NS野球クラブ▷9位 飯館ジュニア▷10位 関沢野球クラブ▷11位 宮仲ジャイアンツ▷12位 ファーマーズ▷13位 エンバラ-81



「合併問題雑感」

今年には合併問題で明け暮れた1年でした。その方向がどちらであれ、全ての情報をお知らせし、話し合いを持ち、皆さんに住民投票していただいたことは、将来、飯館村の歴史に残ることではなかったかなと思っております。50年に一度という村の大きな進路選択に、村民一人ひとりの考えを問う投票でしたから。結果も大切ですが、それまでの途中の道筋・過程がさらに大切だと思ふのです。その手順や途中の努力を省略して、いろいろなきしみを出しているところがあちこちであるようです。

さて、私は住民投票の中で、すばらしい発見をしました。それは、この合併問題については、村に長く住んでいく若い人たちの

の意見を多く取り入れるべきではないかという声によって、18歳以上に投票権を与え、そして中学生からは参考意見ということでアンケートをとりました。その中で「合併しない方がよい」という答えの理由として「自分が将来この地に戻ってきたい」という時『飯館村』があつて欲しい。なくなるのはさみしい」という答えが結構あつたということでした。

15年ぐらい前までは、村民が村外で「どこから来ました？」と尋ねられたとき、「浜通り」「原町市の近く」と自分の村名を言えなかったものが、今の子供たちは「飯館」に愛着を持ってくれているのです。

これは、全村民で村づくりをしてきた結晶以外の何ものでもないでしょう。この子達の思いを私たちは大切にしてさらなる努力をしなければとしみじみ感じたところでした。

平成15年12月21日

飯館村長 菅野 典雄